

2) ガバナンス部門

尾崎一郎（教授・法社会学）

センターの部門に関連した研究活動およびそのアウトプットについて。

グローバル化、多文化主義化の進展に伴い深刻化している2つの問題、すなわち法廷における顕在的／潜在的な文化衝突とヘイト・スピーチ規制について、それぞれ文科省科学研究費と学術振興会領域開拓プログラムから資金を得て行っている研究を継続した。

前者については、調査対象国であるベルギーでの在外研究経験がある松岡佑美名古屋地裁判事補を2017年2月に札幌にお招きし、講演会ならびにインタビューを行ったほか、3月にベルギーでDimitri Vanoverbeke教授（KU Leuven）の協力のもと調査を行った。それに先立ち、研究成果の一部を2016年11月に長春理工大学で開催された中日法学理論国際学術フォーラムにて報告した。

後者については、昨年度構築したコーパス・データの分析に着手し、堀田秀吾明治大学教授、郭薇助教と共同で、「中日社会学会」および「法と言語学会」において研究報告を行った。

自身の研究活動およびそのアウトプットについて。

日本の司法制度改革の成果を幅広く分析した外国書籍、Who Rules Japan?: Popular Participation in the Japanese Legal Process, by Leon Wolff, Luke Nottage, and Kent Anderson, eds. Cheltenham: Edward Elgar Publishing, 2015 の書評を、Social Science Japan Journal に掲載した。

また、都市法に関する共同研究の成果を「ネットワーク社会」における「都市コモンズ」について題する論文にしたため、共著に寄稿した。

その他（教育活動ほか）

通常の教育活動としては、全学教育の主題別科目（社会の認識）、学部向け「演習Ⅱ」「演習Ⅰ」、研究大学院・法科大学院向け「現代法社会論」、学部向け「法社会学」講義を担当したほか、全学教育総合科目「私たちの世界」と大学院共通科目「性差研究入門」にそれぞれ一コマ出講した。

また、藤女子大学の非常勤講師として、前期「法学特講 C-a」、後期「法学特講 C-b」を担当した。

論文

論文標題	雑誌名	発行年	頁
Book Review: Who Rules Japan?: Popular Participation in the Japanese Legal Process, by Leon Wolff, Luke Nottage, and Kent Anderson, eds. Cheltenham: Edward Elgar Publishing, 2015	Social Science Japan Journal Vol.19 Issue.2	2016	236-238
「ネットワーク社会」における「都市コモンズ」について	吉田克己＝角松生史編『都市空間のガバナンスと法』（信山社）	2016	267-286

学会発表

発表課題	学会等名	年月日	発表場所
法秩序における引力と斥力	第1回中日法学理論国際学術フォーラム	2016年11月11日	長春理工大学
日本におけるヘイト・スピーチ問題の現状と学際的分析	中日社会学会成立記念シンポジウム	2016年11月13日	北京第二外国語大学
ヘイト・スピーチへの応答を考える	法と言語学会	2016年12月3日	金城学院大学